

令和2年度年度
 社会福祉法人大五京
 ポラリスこども園
 自己評価結果公表シート

1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「感情表出」
 「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

- ①6学年各クラスの担任が、クラスのお子さまの成長枠を理解し、教育・保育する
- ②乳児・幼児の壁なく相互に理解して助け合える環境を作る
- ③社会人としての立ち居振る舞いを行う
- ④就労支援、育児支援の意味を理解し保護者の対応に努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目(課題)	取り組み状況
① クラス担任をするにあたり、その学年の成長枠や、どのような教育が必要であるか明確に理解して教育する	自分が担任する学年のお子さまの成長枠と、取り組むべき教育保育活動において、どのようなねらいをもって行うのかを常に話し合い、年間カリキュラムや月案を計画的に作成した。クラス会議では活動の持つべき意味を勉強して発表し合った。
② 乳児と幼児の仕事内容の違いや、子どもの年齢別特性を理解する	乳児には幼児経験者、幼児には乳児経験者を配置し、相互の活動や特性を考え合える環境を作った。経験者がリーダーシップを取り、クラス職員に浸透させられたため、お互いを思いやり助け合える雰囲気広がってきた。
③ 社会人としての常識を身につけ、お子さまの手本になる姿勢を振る舞う	社会人としての常識を常時指導していくと共に、園内マナー研修や毎月の会議にて自己振り返りを行ったので、少しレベルアップしたことを実感する。予定していた外部のマナー研修がコロナウィルス流行の為に実行できていないので、次年度に持ち越す。
④ 就労支援・育児支援の理解度を高める	認定こども園として、お子さまを預かる事だけの役割ではなく、保護者の育児支援、就労支援を行う場である事を、会議を通して伝え続けてきた。保護者の気持ちに寄り添える保育教諭を育成していきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

研究発表や、会議での勉強会を通して、教育保育活動における職員のスキルアップを図る事が出来た。また、幼児と乳児の相互理解と協力体制を構築する事が出来、職員間のコミュニケーションが濃厚になってきた事で、お子さまへの良い影響が表れている。職員の女性としての立ち居振る舞いや、お子さまのお手本になるべく社会人としてのマナーにおいては、少しずつではあるが向上してきているので、今後も更なる指導や、研修の機会を設けていきたい。

5. 今後取り組むべき課題(次年度へむけて)

	課題	具体的な取り組み方法
①	引き続き6学年それぞれが持つ特性を理解して、お子さまにとって良い活動を与えていく。	今年度に引き続き、担当学年の指導方法をどんどん改築し、計画的に先を見越した教育・保育の提供をしていきたい。クラス会議で、「活動が持つ意味」「これをしたら何が育つか？」を常に勉強し続け、発表し合ってスキルアップを目指す。
②	職員それぞれが持ち合わせている個性や考えを伝え合える環境を作る。	クラス会議において、個々の悩みや、考え、提案を全て出し合える様なシートを作成して、全員が議題提供し、中身の濃い話し合いになる様に工夫していく。
③	社会人として、女性として、お子さまのお手本としての人間性の向上強化。	個々に合わせた指導や研修を行うと共に、自己を振り返り、他者からの評価を明確にし、自分自身の人間性を理解して人間性向上の活性化を図る。

6. 学校関係者の評価

新型コロナウイルス感染拡大防止のさまざまな影響が大きな年度ではあったが、主な行事は感染防止の対策を看護師と連携を取り、専門家のアドバイスも得て開催できたことは、その後の子どもにとっての貴重な体験に繋がったと評価している。次年度の取り組みとして、園活動のWEB配信などの見える化の工夫、新たな取り組みに期待する。「経営」の面では、新型コロナウイルスの影響による準休園やピュッフエ・基準以上の職員配置などの環境を含み、目標の収支差額の黒字化の達成はできなかった。次年度は園児数との収入と支出のバランスを予算とリアルタイムにしっかりと確認しながら運営してほしいと願い、私達も理事会・評議委員会で確認をしていく。

令和3年3月25日 理事会